

V. 昭和 43 年度の研究成果発表の状況

出 版 物

本所発行の研究発表、紹介の出版物としては次の 3 種がある。そのほかには生研案内(和文・英文)と年次要覧(いずれも年刊)がある。

東京大学生産技術研究所報告(略称: 生研報告)

所員のまとまった研究成果を発表する。本文は和文または欧文とし、不定期発行で年間平均 8 冊前後を刊行している。

生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で発行している。

以上は、本所の発行の分で、その他、随時に学会誌、協会誌、その他の学誌に研究を発表している。

生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、写真中心に簡略に編集したもので、現在まで 100 種を発行している。

A. 東大学生産技術研究所報告(不定期刊・研究発表誌)

昭和 43 年度(43 年 4 月~44 年 3 月)に発表したものを次の表に示す。

| 巻 号 | 題 目 | 著 者 | 発行年月 |
|------|-----------------------------------|----------------------|----------|
| 18・5 | 解析写真測量の相互標定における検査基準についての基礎的考察(和文) | 丸安 隆和・中村 英夫 村井 俊治 | 1968. 5 |
| 19・1 | 冶金学における放射化法の応用(英文) | 小林 昌敏 | 1968. 11 |
| 19・2 | 電子写真感光層に関する研究(和文) | 菊池 眞一・坂田 俊文 | 1969. 3 |

B. 生 産 研 究

| 巻 号 (発行年月) | 通 し ページ | 題 目 | 著 者 |
|----------------------|------------|--|----------------------|
| 20巻 4 号 (43年 4 月) | 147 | 藤高周平先生を悼む(巻頭言) | 森脇 義雄・河村 達雄 |
| | 148 | 電力系統の雷害防止(研究解説) —藤高周平教授の研究業績の一端— | 麻生 忠雄・河村 達雄 |
| | 157 | VHF 帯円偏波発生十文字スロットアンテナ(研究解説) —突起部を持たない円偏波発生用の超高周波アンテナ— | 長谷部 望 |
| | 164 | 高層および地下建築物の防煙対策(研究解説) | 星野 昌一・岡山 誠二 後藤達之助 |
| | 169 | 杭基礎をもつ構造物の耐震性(研究解説) | 久保慶三郎・佐藤 暢彦 |
| | 177 | 解析写真測量における Multiplets Method について(研究解説) | 中村 英夫・村井 俊治 |

| | | |
|----------|--|----------------------|
| | 185 高速度ブラウン管のバルス強力加速 (研究速報) | 藤高 周平・麻生 忠雄 |
| | 187 MOS 形 FET を用いた緩衝増幅回路 (研究速報) | 森脇 義雄・高羽 禎雄 西森 武弘 |
| | 189 風船の破裂音による残響時間の測定 (研究速報) | 石井 聖光・平野 興彦 |
| | 192 エネルギー法とマトリックス法の併用による複雑な弾 性平板の座屈問題解析の一手法について (研究速報) | 川井 忠彦・大坪 英臣 |
| | 194 森脇研究室 (研究室紹介) | 森脇 義雄 |
| 20巻 5号 | 195 古典と電算 (巻頭言) | 坪井 善勝 |
| (43年 5月) | 198 「最近の数値計算」の特集にあたって (論説) | 柴田 碧 |
| 最近の数値 | 199 弾塑性問題とマトリックス法 (特集) | 山田 嘉昭 |
| 計算特集 | 206 有限要素法の現状とその将来 (特集) | 川井 忠彦 |
| | 215 マトリックス法による2次元平面応力場の解析 (特集) | 吉村 信敏 |
| | 219 埋設曲管の応力解析 (特集) | 久保慶三郎・吉田 裕 松本 徳久 |
| | 224 有限要素法 (Finite Element Method)による回転 体の応力解析 (特集) | 川股 重也 |
| | 231 送電工学におけるモンテカルロ法の実用 (特集) —送電線事故率の推定に関する統計的手法— | 河村 達雄 |
| | 235 数値計算の化学への応用 (特集) —分子軌道法によるケイ皮酸の光化学反応についての研究— | 中村賢市郎・菊池 眞一 |
| | 239 アメリカ大学事情 (調査報告) —MIT 材料加工研究室からみた一断面— | 佐藤 壽芳 |
| | 243 はりおよびフレーム構造のマトリックス弾塑性解析 (研究速報) | 山田 嘉昭 |
| | 246 マトリックス法による棒のねじり解析 (研究速報) —様断面棒の場合— | 川井 忠彦・吉村 信敏 |
| | 249 薄肉開断面材のつりあい式と安定条件 (研究速報) | 田中 尚・宇田川邦明 |
| | 252 タンデム圧延の総合特性の解析 (研究速報) —第1報圧延条件と製品形状との関係に圧延機の 剛性が及ぼす影響— | 鈴木 弘・阿高 松男 |
| | 254 交通事故の要因分析 (第1報) (研究速報) | 越 正毅 |
| | 257 久保田研究室 (研究室紹介) | 小瀬 輝次 |
| 20巻 6号 | 259 多段遅延線路記憶式多チャンネル波高分析器 (研究解説) | 森脇 義雄・高羽 禎雄 |
| (43年 6月) | 266 膜現象の化学 (研究解説) | 野崎 弘・豊島 喜則 |
| | 276 化学反応と不可逆過程熱力学について (研究解説) | 清水 国利・妹尾 学 野崎 弘 |
| | 284 学術講演と討議 (論説) | 石田 洋一 |
| | 286 タンデム圧延の総合特性の解析 (研究速報) —第2報冷間タンデム圧延の加減速時の総合特性の解析— | 鈴木 弘・阿高 松男 |
| | 289 加速度応答倍率の信頼幅について (研究速報) | 佐藤 壽芳・武藤 敏昭 |
| | 292 Turks Head による角線の引抜き研究 (研究速報) —第1報引抜き応力解析— | 鈴木 弘・荒木甚一郎 |
| | 295 Turks Head による角線の引抜き研究 (研究速報) —第2報引抜き条件を変えた場合の実験的研究— | 鈴木 弘・荒木甚一郎 |
| | 297 直流大電流用レーザ CT/レーザ・セルシン (研究速報) | 藤井 陽一・白石 敏 浜口 新 |
| | 300 MOS 形電界効果トランジスタの低周波雑音について (第1報) (研究速報) | 安達 芳夫・松下 孟史 上村 幸守 |
| | 303 自動送錘式計量装置について (研究速報) | 沢井善三郎・宮崎 文夫 里 和武 |

| | | | |
|--------------------|-----|---|----------------------|
| | 305 | 鉛蓄電池陽極反応におよぼす $Al_2(SO_4)_3$ の影響 (研究速報) | 児島 尚子・野崎 弘 |
| | 308 | 高速道路のサービスエリアにおける駐車実態調査と その解析 (その1) (研究速報) —駐車希望率と流出入量比— | 川浦 潔 |
| | 310 | 星埜研究室 (研究室紹介) | 星埜 和 |
| 20巻 7号 (43年 7月) | 313 | 平面および曲面問題の追求 (研究解説) —退官記念講演— | 坪井 善勝 |
| | 344 | 衝撃ひずみの測定をめぐって (研究解説) | 大井光四郎・小倉 公達 |
| | 349 | 金属の酸化機構の微視的研究 (研究解説) —「結晶格子欠陥の役割」— | 本間 禎一 |
| | 354 | “プレハブリケーション型” という技術の概念 (研究解説) —技術開発の歴史について— | 本多 昭一 |
| | 362 | 高速道路のサービスエリアにおける駐車実態調査と その解析 (その2) (研究速報) —駐車時間分布— | 川浦 潔 |
| | 365 | 薄板圧延における幅方向肉厚分布に関する一考察 (研究速報) | 鈴木 弘・本城 恒 |
| | 367 | $Fe-Al_2O_3$ 分散合金の抵抗焼結 (研究速報) | 坂井 徹郎・原 善四郎 |
| | 370 | ロールフォーミングに関する実験的研究 第1報 (研究速報) —基本的断面形状に関する実験 (I)— | 鈴木 弘・木内 学 中島 聡 |
| | 373 | ロールフォーミングに関する解析的研究 第1報 (研究速報) —板の1次元塑性曲げとそれに種々のひずみが重なった場合の応力分布— | 木内 学 |
| | 376 | ロールフォーミングに関する解析的研究 第2報 (研究速報) —板の2次元塑性曲げとそれに種々のひずみが重なった場合の応力分布— | 木内 学 |
| | 379 | 窒素を媒質とする音響模型実験の研究 (研究速報) | 石井 聖光・平野 興彦 橋 秀樹 |
| | 381 | 沢井研究室 (研究室紹介) | 沢井善三郎 |
| 20巻 8号 (43年 8月) | 383 | 有限要素法による平板のたわみ問題の解析 (研究解説) | 川井 忠彦・吉村 信敏 |
| | 388 | 原子力発電所の耐震設計—10年のあゆみ (研究解説) | 柴田 碧 |
| | 399 | 土地造成設計における最適化について (研究解説) —整地高さはどのようにきめればよいか— | 中村 英夫・村井 俊治 田中総太郎 |
| | 404 | 土の判別試験法の自動化 (研究解説) | 三木五三郎 |
| | 410 | Digital Terrain Model (研究解説) —地形の数値的表現の方法— | 中村 英夫・村井 俊治 |
| | 416 | 製精糖技術の現況 (調査報告) —第13回国際甘蔗糖技術者会議に出席して— | 梅谷 陽二 |
| | 419 | 二重に連結したH形配管系の遷移行列法による解析の 一提案 (研究速報) | 柴田 碧 |
| | 421 | 全感応交通信号の容量特性 (研究速報) | 越 正毅・坂下 雅美 |
| | 424 | カフィードバック空気圧サーボ弁の自動振動 (研究速報) | 荒木 獻次 |
| | 426 | 浸せき熱測定によるゼオライト活性点の研究 (研究速報) —Ca-Y 型ゼオライト表面の静電場— | 高橋 浩・堤 和男 |
| | 428 | ハロイサイトから生成したA型ゼオライトの吸着特性 (研究速報) | 高橋 浩・西村 陽一 |

| | | | |
|----------|-----|--|--|
| | 430 | 渦状凝縮過程における液滴の合体成長について (研究速報) | 棚沢 一郎 |
| | 433 | 人間が発生する擾乱数の特性について (研究速報) —乱数発生テスト法の提案— | 村上 公克 |
| | 436 | 江上研究室 (研究室紹介) | 江上 一郎 |
| 20巻9号 | 439 | 強磁性体の磁気光学効果 (研究解説) | 芳野 俊彦 |
| (43年9月) | 448 | 電子遷移効果発振の動作機構とその特性 (研究解説) | 生駒 俊明 |
| | 455 | 小孔の回折像について (研究解説) | 故鈴木 恒子 |
| | 461 | コイナ地震調査 (調査報告) | 岡本 舜三・田村重四郎 |
| | 464 | ホログラフィによるレンズ収差の補正 (研究速報) | 野口 勝・小瀬 輝次 |
| | 466 | モルデナイトの加熱処理による構造変化に対する 交換性陽イオンの影響 (研究速報) | 高橋 浩・西村 陽一 |
| | 468 | 鉄粉の側方通電焼結 (研究速報) | 坂井 徹郎・原 善四郎 |
| | 471 | 動力学的応力解析に対する光弾性学的方法 (研究速報) | 岡本 舜三・森地 重暉 |
| | 473 | Analysis of Inverter-Induction Motor System (研究速報) | HARASHIMA Fumio |
| | 475 | Response of Building-Machine Structure System Subjected to Two Different Seismic Forces (研究速報) | SATO Hisayoshi, SUZUKI Kohei |
| | 478 | 一色・本間研究室 (研究室紹介) | 一色 貞文 |
| 20巻10号 | 479 | 極高真空技術の現状 (研究解説) | 富永 五郎 |
| (43年10月) | 486 | 自動車に関する研究問題 (研究解説) | 平尾 収 |
| | 491 | 船舶の波浪荷ひん度 (研究解説) | 高橋 幸伯 |
| | 496 | 明治建築について (研究解説) | 村松貞次郎・関 建世 本多 昭一・加藤 安雄 |
| | 505 | 韓国化学年会に出席して (調査報告) | 菅川 淳子 |
| | 508 | 音場における燃料液滴の燃焼 (研究速報) | 本多 健一 伊藤 忠温・遠藤 敏彦 水町 長生 |
| | 510 | ラジアルタービン用ノズルの研究 (研究速報) —高膨張比におけるノズル特性— | 遠藤 敏彦・水町 長生 |
| | 513 | 非線形ノズル噴流力によるカフィールドバック空気圧 サーボ弁のし振振動 (研究速報) | 荒木 献次 |
| | 515 | 低音における MOS 形電界効果トランジスタの 異常雑音について (第2報) (研究速報) | 安達 芳夫・松下 孟史 上村 幸守 |
| | 517 | 高密度符号伝送の方式 (研究速報) | 安田 靖彦・野辺田 繁 |
| | 519 | 酸アジドの光分解 (研究速報) | 宗像 誠二・菊池 眞一 |
| | 521 | Cu-Fe 合金の復元現象について (研究速報) | 西川 精一・長田 和雄 |
| | 524 | 二元系合金状態図に関する研究 (研究速報) —Sn-Cd 系状態図について— | 西川 精一・王 啓一 |
| | 526 | 亜鉛メッキしたアルミニウム線材の加熱に伴う 性質変化 (研究速報) | 西川 精一・小林 繁美 |
| | 529 | 平尾研究室 (研究室紹介) | 徐 錫洪 |
| 20巻11号 | 531 | 高結合圧電セラミックの測定法 (研究解説) | 尾上 守夫 |
| (43年11月) | 538 | くりかえしレンズによるレーザ・ビーム伝送 (研究解説) | 藤井 陽一・白石 敏 伊藤 孝雄・三好 正美 |
| | 544 | 試験溶鉱炉の送風限界試験について (研究解説) | 中根 千富・桑野 芳一 鈴木 吉哉・金 鉄裕 本田 紘一・大谷 啓一 上田 一清・岡本 賢 |

| | | |
|----------------|---|------------------------------------|
| | 551 銅粉の還元析出 (研究解説) | 阿部 照衛・原 善四郎 |
| | 560 MOS 型 FET を用いた A-D 変換器 (研究速報) | 森脇 義雄・高羽 禎雄 |
| | | 西森 武弘 |
| | 563 微小磁鋼片による鉄塔サージ特性の解析 (研究速報) | 河村 達雄・北条 準一 |
| | | 大平 矩史 |
| | 565 メズパワー効果による鉄アルミニウム合金の“K” 状態の研究 (研究速報) | 三島 良治・石田 洋一 |
| | | 加藤 正夫 |
| | 567 金属大傾角結晶粒界構造の解析 (研究速報) | 石田 洋一・長谷川 隆 |
| | 570 金属結晶粒界転位のバーガースベクトル (研究速報) | 石田 洋一 |
| | 572 プラズマジェットの冶金反応への応用 (1) (研究速報) | 石塚 隆一・明石 和夫 |
| | —五酸化ニオブの炭酸還元による炭化ニオブの生成— | 江上 一郎 |
| | 575 浅原研究室 (研究室紹介) | 浅原 照三 |
| 20巻12号 | 581 久保田廣先生を悼む (巻頭言) | 小瀬 輝次・富永 五郎 |
| (43年12月) | 582 光の干渉・回折とその応用 (研究解説) | 小瀬 輝次 |
| 十勝沖地震 震害小特集 | —故久保田廣教授と応用光学— | |
| | 588 十勝沖地震 (1968) 震害調査報告—土木班 (特集) | 岡本 舜三・田村重四郎 |
| | 614 南北北海道地方の土木建造物の震害調査 (特集) | 久保慶三郎 |
| | 620 十勝沖地震における建築物の被害 (特集) | 田中 尚・岡田 恒男 |
| | —主として八戸市の鉄筋コンクリート造建物について— | |
| | 632 機械・配管関係の震害について (特集) | 佐藤 壽芳 |
| | 637 A New Formulation of Neutron Emission Probability (研究速報) | HARA Fumio |
| | 640 丸安研究室 (研究室紹介) | 丸安 隆和 |
| 21巻1号 | 1 所長を辞するに当たって (巻頭言) | 菊池 眞一 |
| (44年1月) | 2 プラスチックス上へのメッキ法 (研究解説) | 松永 正久・萩生田善明 |
| | 9 デジタル・システムの自動故障診断 (研究解説) | 渡辺 勝久・杉本 正勝 |
| | 16 実時間処理におけるデータ平滑の一方式 (研究速報) | 浜崎 襄二 |
| | —二階常微分方程式に従う観測対象の実時間データ平滑— | |
| | 25 糊料に関する研究 (研究解説) | 中村 亦夫 |
| | 31 微小パターン位置決め方式 (研究速報) | 張 碧雄・大島康次郎 |
| | 33 グラフィック・ディスプレイ装置の試作 (研究速報) | 山口 楠雄・鈴木 俊光 |
| | | 桜井 正郎 |
| | 35 CO ₂ レーザ用ダブルプリズム減衰器 (研究速報) | 斎藤 成文・小関 健 |
| | 38 放射化トレーサ法によるアルミニウム合金中の不純 物元素の腐食挙動に関する研究 (研究速報) | 加藤 正夫・井上 健 |
| | 40 SURFACE CONDUCTIVITY OF GaAs (研究速報) | HONDA Ken-ichi SHIMODA Haruhisa |
| | 42 結晶粒界転位と粒界すべり (研究速報) | 石田 洋一 |
| | 44 大井研究室 (研究室紹介) | 大井光四郎 |
| 21巻2号 | 45 所長就任のあいさつ (巻頭言) | 一色 貞文 |
| (44年2月) | 46 円形ピストン音源による音場 (研究解説) | 鳥岡 安生 |
| | 55 ガラスの強度 (研究速報) | 今岡 稔・長谷川 洋 |
| | 61 ラジオアイソトープ発電器 (研究解説) | 加藤 正夫・佐藤 乙丸 |
| | 66 DC-705 からの放出ガスの測定 (研究速報) | 木下 時重・富永 五郎 |
| | 69 VHF 超音波による光散乱 (研究速報) | 山崎 正之 |
| | 71 ボロンの電解採取に関する二, 三の実験 (1) (研究速報) | |
| | —KBF ₄ — B ₂ O ₃ 系の融点の測定 | 黄 仁基・明石 和夫 |
| | | 江上 一郎 |
| | 73 プラズマジェットの冶金反応への応用 (2) (研究速報) | 石塚 隆一・明石 和夫 |
| | —ボロンの溶解とその二, 三の性質— | 江上 一郎・小倉 正夫 |

| | | | |
|------------------|-----|---|--------------------------------|
| | 76 | 交通事故の要因分析 (第2報) (研究速報) | 越 正毅・加藤 祐二 |
| | 78 | 野崎研究室 (研究室紹介) | 野崎 弘 |
| 21巻3号 (44年3月) | 79 | 自然災害の危険度の予知 (研究解説) 一都市における崖崩れを対象にして一 | 丸安 隆和・嶋田 厚二 |
| | 88 | 電気自動車開発の基本的な考察 (調査報告) | 梅谷 陽二 |
| | 92 | 吹米における溶接技術の現状 (調査報告) | 沢井善三郎 |
| | 96 | 地震時に2個の入力をうける構造物の応答震動 (研究速報) | 林 有一郎・岡本 舜三 |
| | 99 | 閾値変化法 (VARISHOLD Method) による人工 触覚のパターン認識 (研究速報) | 森 政弘・木下源一郎 |
| | 101 | RESPONSE OF STRUCTURE MODEL SUBJECTED TO TWO SEISMIC MOTIONS WITH CERTAIN TIME-LAG INTERVAL (研究速報) | SATO Hisayoshi SUZUKI Kohei |
| | 104 | 交通事故の要因分析 (第3報) (研究速報) | 越 正毅・加藤 祐二 |
| | 107 | 鈴木研究室 (研究室紹介) | 鈴木 弘 |

C. 生研リーフレット

43年度は都合により発行しなかった。

D. 著書および所外の学術雑誌などに発表したもの

一表題は原文表題一
一各項目末尾の数字、文字は、順に巻(太字)、号、ページ、
発行所名、年、月(西暦)を示す。巻のないものは、文字
でその呼称を示す一

第 1 部

教 授 岡本 舜三 (Shunzo OKAMOTO)

A Method of Dynamic Model Test of Arch Dam—Proceedings of 4WCEE, Santiago, Chile, 1969. 1.

耐震構造設計者のための日本列島大地震図譜, オーム社, 1968. 12.

Koyna 地震震害の反省—土木学会誌, 53, 6, 1968.

教 授 一色 貞文 (Sadabumi ISSIKI)

前期樹枝状晶の観察—(高 正植・片岡邦郎・山沢富夫と共著)日本金属学会昭和 43 年
春季講演会概要 202~203, 1968. 4.

ミクロ偏析と XMA—(片岡邦郎・高 正植・山沢富雄と共著): 非破壊検査協会昭和43
年春季大会講演概要 65, 1968. 3.

X線透過異常像と金属組織—(高 正植・片岡邦郎・山沢富雄と共著): 非破壊検査協会
昭和 43 年春季講演会概要, 69, 1968. 3.

- XMA のラインプロフィールについて—(片岡邦郎・高 正植・山沢富雄と共著)：非破壊検査協会昭和 43 年秋季講演会概要, 330, 1968, 9.
- アルミ合金の透過異常像—(高 正植・片岡邦郎・山沢富雄と共著)：非破壊検査第 1 分科会資料, 1435, 1968. 11.

教授 大井光四郎 (Koshiro Oi)

- 材料力学通論(岡本舜三ほかと共著)：105, 東大出版会, 1968. 11.
- 原子炉用圧力容器ノズル取付部および支持スカート取付部の構造強度とその材料の高応力疲労に関する試験研究, 70, 日本機械学会, 1968. 6.

教授 鳥飼 安生 (Yasuo TORIKAI)

- 楕円形音源による音場日本音響学会講演論文集, 273~274, 1968. 4.
- Acoustic Fields Produced by Various Piston-like Sources—Reports of the 6th International Congress on Acoustics, Tokyo, L-73~76, 1968. 8.
- Theory of the Diffraction of Light by Ultrasonic Waves (Coauthor: O. Nomoto)—Reports of the 6th International Congress on Acoustics, Tokyo, H-145~148, 1968. 8.
- Hypersonic Velocities in Ethanol-Water Mixtures (Coauthors: K. Negishi, M. Yamazaki, M. Ito)—Report of the 6th International Congress on Acoustics, Tokyo, J-77~80, 1968. 8.
- 超音波(能本乙彦と共著)—実験物理学講座, 9 音響と振動, 225~322, 共立出版 KK., 1968. 10.
- 種々のピストン音源による音場—日本音響学会講演論文集, 13~14, 1968. 11.
- 超音波によるアルミニウム圧延板の異方性の測定(李 孝雄と共著)—日本音響学会講演論文集, 19~20, 1968. 11.
- 金属の塑性変形におよぼす超音波の作用(第 2 報)引張り試験および横方向圧縮試験(藤森聰雄・山田嘉昭・山本昌孝と共著)—日本音響学会講演論文集, 79~80, 1968. 11.
- 音波物性とその応用(能本乙彦・生嶋 明と共著)—物性工学講座 11, オーム社, 1969. 1.

教授 富永 五郎 (Goroh TOMINAGA)

- 極高真空技術 応用物理 37, 2, 178.
- Caracteristiques d'une chambre a ultra-vide, (Coauthors: K. Hirao, T. Ito, C. Hayashi) Le Vide No. 132, 355.

教授 山田 嘉昭 (Yoshiaki YAMADA)

- Plastic Stress-Strain Matrix and Its Application for the Solution of Elastic-Plastic Problems by the Finite Element Method, (Coauthors: N. Yoshimura and T.

- Sakurai) Int. J. Mech. Sci., 10, 5343—354, 1968.
- Analysis of the Elastic-Plastic Problems by the Matrix Displacement Method (Coauthors: T. Kawai, N. Yoshimura and T. Sakurai)—2nd Conference on Matrix Methods in Structural Mechanics, Preprint, 1968, 10.
- マトリックス構造解析法—日本機械学会誌, 72, 601, 1969. 2.
- 塑性加工と潤滑—第3回夏季セミナー講義録, 日本潤滑学会, 1968. 7.
- 不連続粘弾性波の差分法による解析(沢田孚夫と共著)—塑性と加工, 10—98, 141—148, 1969.
- ひずみ増分理論による液圧バルジ試験の解析(横内康人と共著)—第19回塑性加工連合講演会講演論文集, 305—308, 1968, 11.
- ひずみ増分理論による球頭ボンチ張出加工の解析(中島尚正・高橋昭夫と共著)—第19回塑性加工連合講演論文集, 301—304, 1968, 11.
- 超音波が金属の塑性変形におよぼす作用について(山本昌孝・鳥飼安生・藤森聰雄と共著)—第19回塑性加工連合講演論文集, 169—172, 1968, 11.
- 材料力学通論(岡本舜三論), 第2章 応力とひずみ, 第11章 弾性の法則と弾性ひずみエネルギー, 第16章 塑性とレオロジー—東京大学出版会, 1968, 11.
- R. K. リブスレイ原著, マトリックス構造解析入門(川井忠彦と共訳)—培風館, 1968, 9.

教授 北川 英夫 (Hideo KITAGAWA)

- 材料の強度理論とその適用について—日本溶接協会創立第20周年記念講座, 日本工業経済連盟, 第400回工経連講座テキスト, 1968. 5.
- き裂材の強さ及びき裂きょ動に及ぼす残留応力と平均応力の影響について(三角正明と共著)—材料学会疲労部門委員会資料, 1968. 5.
- 巨視的疲れき裂の進行特性の解析と特用について(改)—日本学術振興会第129委員会資料, 1968. 6.
- 軽金属材料の強度(そのI)—日本機械学会, 第293回講習会テキスト, 1968. 6.
- 腐食と残留応力と材料の強度の関係について—日本機械学会, 残留応力調査評価研究分科会資料, 1968. 7.
- 電気抵抗ひずみゲージの疲れ(相良博文と共著)—NDI 資料 4265, 1968. 7.
- 腐食環境と材料の強度—日本経営研究会セミナー, 1968. 7.
- 疲れき裂特性に及ぼす圧縮および引張平均応力の影響(三角正明と共著)—日本機械学会 残留応力評価研究委員会資料, 1968. 9.
- 疲れき裂特性に及ぼす圧縮および引張平均応力の影響(三角正明・水野康一と共著)—日本機械学会, 講演論文集 198, 1968. 9.
- ランダム荷重を受ける鋼板中の疲れき裂特性(西山晟人・何川雅之と共著)—日本機械学会講演論文集 198, 1968. 9.

金属材料疲れ試験便覧(川田雄一ほかと共著)一丸善, 1968. 9.

ひずみ測定概論—日本非破壊検査協会, 設計技術者のためのひずみ測定技術講習会テキスト, 1968. 10.

材料力学通論(岡本舜三ほかと共著)一東京大学基礎工学 8, 東大出版会, 1968. 10.

高周波焼入材における疲れき裂の挙動(三角正明と共著)一日本機械学会, 残留応力調査評価研究委員会資料, 1969. 1.

腐食性環境と疲労強度—日本鉄鋼協会, 第3回西山記念技術講座, 1969. 2.

教授 小瀬 輝次 (Teruji OSE)

Holographic Measurement of Optical Transfer Function (Coauthor: K. Matimoto) Japan. Jour. App. Phys. 7 1968. 621.

超解像

応用物理. 37 853. 1968.

Photographic Optics—Review Progress of Photography in Japan 55. 日本写真学会誌 1968.

教授 森大 吉郎 (Daikichiro MORI)

材料力学通論—東京大学出版会, 1968. 11.

観測ロケットの振動環境(中野 旭と共著)一日本機械学会誌, 71, 596, 1968, 9.

観測ロケット特集号(ラムダ4 S型ロケット)(中野 旭・三石 智・永井達成他と共著)一東京大学宇宙航空研究所報告, 4, 4(B), 1968. 12.

助教授 成瀬 文雄 (Humio NARUSE)

磁気レイノルズ数が小さいときの円柱の運動に対するホール効果II—日本物理学会第23回年会講演予稿集・応用数学力学, 6, 1968. 4.

軸対称物体のまわりの R_m が小さい非粘性流の Hall 効果—日本物理学会第13回応用数学・力学講演会予稿集, 15, 1968. 9.

軸対称物体のまわりの R_m が小さい境界層流の Hall 効果(金子幸臣・西島勝一と共著)一日本物理学会第13回応用数学・力学講演会予稿集, 16, 1968. 9

助教授 辻 泰 (Yutaka TUZI)

A New Mode of Modulation for a Bayard-Alpert Gauge. (Coauthors: M. KOBAYASHI, R. OKADA) Japan. J. appl. Phys. 7 1415. 1968.

変調電極付き Bayard-Alpert 型電離真空計の負電圧変調特性(岡田 怜・金 文沢と共著)真空 12 18, 1969.

助教授 根岸 勝雄 (Katsuo NEGISHI)

音響ルミネッセンスの温度特性—日本音響学会講演論文集, 165~166, 1968. 4.

Hypersonic Velocities in Ethanol Mixtures (Coauthors: Y. Torikai, M. Yamazaki

and M. Itō)—Reports of the 6th International Congress on Acoustics, J-77~80, 1969. 8.

Qスイッチレーザによる衝撃音圧の発生—電気関係学会関西支部連合大会講演論文集, 236, 1968. 11.

Bragg 反射を用いた超音波の音速と吸収の測定 (山崎正之と共著)—応用物理学会講演予稿集, 1, 49, 1968. 10.

VHF 超音波による光散乱と音速および吸収測定への応用 (山崎正之と共著)—日本音響学会講演論文集, 11~12, 1968. 11.

有限振幅の音波とキャピテーション—力学物性 (和田八三久編) の一部, 共立出版, 1968. 7.

助教授 田村重四郎 (Choshiro TAMURA)

Characteristics of Earthquake Motion at the Rocky Ground (Coauthors: T. Mizukoshi and T. Ono) 4WCEE. Santiago, Chile, 1969. 1.

助教授 中桐 滋 (Shigeru NAKAGIRI)

薄肉弯曲管の応力と変形について (鶴戸口英善・加納 巖と共著) 高圧力, 6, 3, 1328, 1968. 5.

助教授 岡田 恒男 (Tsuneo OKADA)

溶接金網を使用せる鉄筋コンクリート部材の力学的性状に関する研究 (その2, 定着性能)

日本建築学会論文報告集号外 1968, 10.

1968年十勝沖地震災害調査報告 (田中 就・大沢 晔と共同執筆) 380~459 日本建築学会 1968. 12.

助手 (特別研究員) 芳野 俊彦 (Toshihiko YOSINO)

Ni 蒸着膜の可視及び近赤外域におけるロンヂチュージナル磁気光学的效果 (田中俊一と共著)

東京大学工学部紀要 A-68-No. 6 (1968) 40.

助手 金子 幸臣 (Sachiomi KANEKO)

軸対称物体のまわりの R_m が小さい境界層流の Hall 効果 (成瀬文雄・西島勝一と共著) 日本物理学会第 13 回応用数学・力学講演会予稿集, 16, 1968. 9.

Navier-Stokes 方程式の円柱外部問題の数値計算に関する一方法—数理解析研究所講究録 52, 91, 1968. 10.

第 2 部

教授 鈴木 弘 (Hiromu SUZUKI)

Turks Head による角線の引抜の研究 (第 3 報引抜条件が引抜力におよぼす影響の解析) (荒木基一郎と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 21, 1968. 11.

Turks Head による角線の引抜の研究 (第 4 報引抜条件が引抜力におよぼす影響の実験的研究) (荒木基一郎と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 25, 1968. 11.

薄板圧延における幅方向板厚分布に関する一考察 (河野輝雄と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 225, 1968. 11.

熱間連続圧延機の最適のパススケジュールの計算法 (岡戸 克と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 229, 1968. 11.

冷間連続圧延機の最適のパススケジュールの計算法 (岡戸 克と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 233, 1968. 11.

熱間タンデム圧延の加減速特性 (阿高松男と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 241, 1968. 11.

冷間タンデム圧延の動特性と影響係数および圧延機剛性との関連性について (タンデム圧延の総合特性の解析第 3 報) (阿高松男と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 245, 1968. 11.

ロールフォーミングに関する実験的研究第 2 報 (基本的断面形状に関する実験 2) (木内学・中島 聡・赤堀明夫・雪竹泰三・柴田忠臣と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 437, 1968. 11.

ロールフォーミングに関する実験的研究第 3 報 (基本的断面形状に関する実験 3) (木内学・中島 聡・赤堀明夫と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 441, 1968. 11.

ロールフォーミングに関する実験的研究 第 4 報 (基本的断面形状に関する実験 4) (木内学・中島 聡・赤堀明夫・雪竹泰三・柴田忠臣と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 445, 1968. 11.

ロールフォーミングに関する実験的研究 第 5 報 (基本的断面形状に関する実験 5) (木内学・中島 聡・赤堀明夫と共著) — 第 19 回塑性加工連合講演会講演論文集, 449, 1968. 11.

圧延工学の最近の進歩—日本機械学会誌, 71, 588, 117.

タンデム圧延機の総合特性に関する研究 第 1 報 (鎌田正誠と共著) 塑性と加工, 9, 89 395.

タンデム圧延機の総合特性に関する研究 第 2 報 (鎌田正誠と共著) — 塑性と加工, 9, 90, 459,

Turks Head による角線の引抜きの研究 (荒木甚一郎と共著) 一日本機械学会誌, 71, 597, 44.

教授 平尾 収 (Osamu HIRAO)

- 安全を支える要素, 機械学会座談会, 1968. 4.
Improvement of Safety of Automobice As man-machine system at High-Speed Running: FISITA 国際会議, 1968. 5.
自動車用機関計画原論の試み, 内燃機関, 43, 4, 44. 3.
高速化をはばむ諸問題, 自動車技術会中部支部講習会, 1968. 9.
自動車時代における道路, 高速道路と自動車, XI 10, 1968. 10.
人動車学, DNIAS ANUAL REPORT 1969. 1.
人動車学と交通安全, 国民, 833.
研究体制整備と研究分野の調整, 自動車技術, 22, 10, 1968.
人動車の安定性改善のための微分項を含んだ操舵系について自動車技術, 23, 1, 1969.
あすの自動車 (交通運輸システムの中の自動車), タイヤニュース, 1968. 12.
交通事故追跡調査の要約, 自動車工業, 1968. 12.

教授 亘理 厚 (Atsushi WATARI)

- An Evaluation of Stability of a Motor Vehicle upon Steering (Coauthors: Shiral. Sunaga.Iida)-2-18, 12 th Congress of FISITA, 1968. 5.
Elastic Vibration Analysis of of Automobile Body Structure (Coauthors: Adachi. Miki. Nagai)-12. 312, 1 st International Conference on Vehicle Mechanics, 1968. 7.
windアップおよびシェークを含む自動振動の一般的解析について, 機械学会誌, 71 596, 116, 9, 1968. 9.

教授 松永 正久 (Masahisa MATSUNAGA)

- 表面研摩法 (編集および一部執筆, 共同執筆者所外 4 名) 朝倉書店. 1968. 8.
ABS 樹脂へのメッキの電子顕微鏡的形状と密着性, (萩生田善明ほか所外 1 名と共著), 金属表面技術, 19, 6, 223, 1968. 6.
Adhesion of Electrodeposits to Plastics,—An Electron Microscopic Investigation. (Coauthor: Y. Hagiuda), Metal Finishing, 66, 11, 80, Metals & Plastics Pub. Inc. 1968. 11.

教授 大島康次郎 (Yasujiro OSHIMA)

- ビーム偏向形純流体比例素子に関する研究 (栗山幸造と共著) 一第 3 回純流体シンポジウム資料. 45, 1968. 8.
自動制御便覧, 改訂 (編集委員長) コロナ社, 1968. 9.
微小パターン位置決め装置 (張 碧雄と共著) 一第 11 回自動制御連合講演会前刷, 267,

1968. 10.

教授 石原 智男 (Tomo-o Ishihara)

Transient Characteristics of Automotive Transmission Gear Ratio Change (Coauthors: M. Ōya, H. Nishikawa, K. Suzuki)—12th FISITA Congress Paper No. 1-13, 1968. 5.

油圧工学(井田富夫外3名と共著)—朝倉書店, 1968. 5.

Characteristics of Fluid Coupling (Coauthors: S. Furuya, K. Mori)—Bulletin of JSME 11, 45, 496, 1968. 6.

流体継手内部の流れの状態(古屋七郎・森 恒と共著)—日本機械学会流体工学流体機械講演会前刷, 1968. 8.

ポペット形圧力制御弁の研究, 第1報(小島英一と共著)—日本機械学会 46 期全国大会講演会前刷, 1968. 9.

教授 高橋 幸伯 (Yukinori TAKAHASHI)

高張力鋼の低サイクル疲労の研究(寺沢一雄ほかと共著)—造船研究, 10-1, 1968. 6.

第三回国際船体構造会議について(吉識雅夫と共著)—船舶, 41-7, 1968. 7.

航海中の船体応力頻度に関する実船試験 (長沢 準ほかと共著)—造船研究資料, 76, 1968. 7.

教授 植村 恒義 (Tsuneyoshi UYEMURA)

高速度写真による TV 用ブラウン管の安全性に関する研究(第1報), (山本芳孝・旭硝子 K.K. 飯野俊孝・石塚 真と共著), 第15 回応用物理学関係連合講演会前刷, 18~19, 1968. 4.

ロケットの光学的追跡に関する研究(第15報), (金沢和夫・小西 勇・田中勝也・喜久里 豊・柴楽正光と共著), 第15 回応用物理学関係連合講演会前刷, 24~25, 1968. 4.

レーザ加工(加工機構の解析), (宮崎俊行と共著), 昭和 43 年度精機学会春季大会学術講演会前刷, 193~194, 1968. 4.

高速度写真による原子炉要素の安全性に関する研究(第2報), (山本芳孝・田中勝也・動力炉核燃料開発事業団 中村康治・植松邦彦・宮口公秀と共著), 昭和 43 年度精機学会春季大会学術講演会前刷, 223~224, 1969. 4.

超高速回転体に関する研究(第5報), (吉沢 徹と共著), 昭和 43 年度精機学会春季大会学術講演会前刷, 305~306, 1968. 4.

レーザ加工(宮崎俊行と共著), 昭和 43 年度精機学会秋季学術講演会前刷, 117~118, 1968. 11.

Displacement-Time Recording with a String (Coauthor: H. Edgerton) Proc. of 8th Int. Congress on High-Speed Photography Stockholm, June 23~29. 1968, 391~394.

最近の高速度写真について (1) (映像情報), 1969, 1, 4~6.

東京大学鹿兒島宇宙センターでのロケットの光学観測, (金沢和夫と共著), 映像情報, 1969, 2, 20~23.

教授 森 政弘 (Masahiro MORI)

指の研究—日本機械学会第 779 回講演会要旨集, 1~6, 1968. 7.

制御と情報—NHK 情報科学講座. 日本放送出版協会, 4, 1968. 8.

人工の指のための触角の研究 (とくに圧覚)—第 7 回計測自動制御学会学術講演会予稿集, 367~368, 1968. 9.

実用ロボットの制御工学での位置付け (梅谷・合田と共著)—第 7 回計測自動制御学会学術講演会予稿集, 187~190, 1968. 9.

射出成形機のための人工の手 (梅谷・合田と共著)—第 11 回自動制御連合講演会前刷, 271~272, 1968. 10.

Engineering and Design of Artificial Fingers—第 41 回日本整形外科学会総会学術講演集録, 386~387, 1968.

ロボットの基本思想と講想—計測と制御, 7, 12, 871~880, 1968. 12.

ロボットの役割とロボット工学—日本機械学会誌, 72, 601, 232~240, 1969. 2.

教授 柴田 碧 (Heki SHIBATA)

WG-5 振動絶縁装置—日本機械学会 ISO/TC 108 機械振動と衝撃・講演会前刷, 25, 1968. 5.

配管の規格化による耐震設計作業の簡易化について (岡田 晏と共著)—日本機械学会東京秋期講演会前刷, 109, 1968. 8.

防振—機械工学最近の 10 年のあゆみ, 日本機械学会, 83, 1968. 8.

配管系の振動—配管と装置, 4, 1968. 8.

原子炉容器模型の振動特性実験 (重田達也と共著)—日本機械学会全国大会講演会前刷, 200, 53, 1968. 9.

不規則な多入力に対する配管系の振動解析について (清水信行と共著)—日本機械学会全国大会講演会前刷, 200, 41, 1968. 9.

不規則に変動する応答波形群からの応答波形の予測 (宮本昌幸と共著)—統計的制御理論シンポジウム前刷, 33, 1968. 11.

固有振動数の計算—日本機械学会振動工学の理論と応用・講習会前刷, 305, 61, 1969. 3.

A Study of Core Optimization from the View Point of Neutron Flux Distribution (Coauthor: F. HARA)—J. of Nuclear Science and Technology (日本原子力学会) 5, 7, 323, 1968. 7.

A Suggestion to Simulate Strong Earthquake Motions (Coauthor: M. Miyamoto)—第 2 回日米合同“確率過程の工学への応用セミナー”, 1968. 9.

A Suggestion of Generating a Phase Restricted Pseudo-Earthquake Motion (Coauthor : M. Miyamoto)—Bull. of ERS, (所内耐震構造設計グループ), 2, 1968. 12.

Preliminary Report on Damages of Industrial Firms by Tokachi-oki Earthquake, 1968 (Coauthor : H. SATO)—Report of ERS (所内耐震構造設計グループ), III-1, 1968. 12.

Observation of Damages of Industrial Firms in Niigata Earthquake (Coauthor : S, Fujii)—第4回世界地震工学会議前刷, J-2, 1969. 1.

助教授 川井 忠彦 (Tadahiko KAWAI)

マトリクス法による船体構造解析に関する研究(Ⅲ)—日本造船学会論文集 123 号 (吉識雅夫・吉村信敏と共著), 1969. 5.

エネルギー法による円筒殻の三次元弾性理論 (第1報, 2報) (安藤良夫・矢川元基と共著)—第10回構造強度に関する講演会前刷集 日本機械学会, 日本航空学会共催, 1968. 7.

第46期全国大会講演会前刷, 日本機械学会, 1968. 9.

平板の曲げ, 振動および座屈問題に関するエネルギー法の一般的適用法について(Ⅲ) (複雑な平板の座屈問題解析の一手法)

(吉識雅夫・大坪英臣との共著)—日本造船学会論文集, 123, 1968. 6.

Analysis of Large Deflection of Plates by the Finite Element Method International Journal for Numerical Methods in Engineering, (Coauthor : N. Yoshimura) 1, 1 1. John Wiley & Sons Ltd (January 1969)

コンピュータ使用によるマトリクス構造解析講習会テキスト 日本鋼構造協会編, 1968. 4.

R. K. リブスレイ著マトリクス構造解析入門(山田嘉昭と共訳)—培風館, 1968. 9. 構造物の固有値について, 第6回生研講習会耐震, 防震の考えかたテキスト, 1968. 6. 構造物のマトリクス法による振動解析—第305回講習会教材, 振動工学の理論と応用, 日本機械学会主催, 1969. 3.

有限要素法(その1, その2)—日本造船学会誌, 473, 475, 1968. 10, 1969. 1.

曲り染の応力および強度(その1), (築地恒夫と共著)—日本機械学会第46期全国大会講演会前刷, 1968. 9.

“General Theory of Shells Based on the Energy Principles”, Recent Researches of Structural Mechanics, Contributions in Honour of the 60th Birthday of Prof. Y. Tsuboi Uno Shoten, Tokyo, May. 1968.

助教授 佐藤 壽芳 (Hisayoshi SATO)

データ処理とその機器. 精機学会シンポジウム “データ処理”, 1968. 4.

地震工学における相関関数の応用—相関関数およびスペクトル. 東大出版会, 1968. 4.

多入力をうける多自由度系の地震応答(鈴木浩平と共著)―日本機械学会講演論文集, 1968. 9.

地震工学における統計的方法―第 18 回応力連合講演会論文抄録集, 1968. 11.

地震にたいする応答計算の信頼幅について―第 18 回応力連合講演会論文抄録集, 1968. 11.

Preliminary Report on Damages of Industrial Firms by Tokachi-oki Earthquake, 1968. (Coauthor: H. Shibata) Report of ERS. NoIII. 1. 1968. 12.

Observation of Damages of Industrial Firms in Niigata Earthquake (Coauthors: S. Fujii, H. Shibata, M. Iguchi and K. Akino) IV-Wcee 1969. 1.

助教授 木内 学 (Manabu KIUCHI)

ロールフォミングに関する実験的研究 第 1 報 (鈴木・中島と共著), 第 18 回塑性加工連合講演会前刷集, 313~316, 1967. 11.

ロールフォミングに関する実験的研究 第 2 報 (鈴木・中島他 3 名と共著), 第 19 回塑性加工連合講演会前刷集, 437~440, 1968. 11. ロールフォミングに関する実験的研究 第 3 報 (鈴木・中島・赤堀と共著), 第 19 回塑性加工連合講演会, 441~444, 1968. 11.

ロールフォミングに関する実験的研究 第 4 報 (鈴木・中島他 3 名と共著), 第 19 回塑性加工連合講演会, 445~448, 1968. 11.

ロールフォミングに関する実験的研究 第 5 報 (鈴木・中島・赤堀と共著), 第 19 回塑性加工連合講演会, 449~452, 1968. 11.

ロールフォミングに関する解析的研究 第 1 報 第 18 回塑性加工連合講演会前刷集, 305~308, 1967. 11.

ロールフォミングに関する解析的研究 第 2 報 第 18 回塑性加工連合講演会前刷集, 309~312.

ロールフォミングに関する解析的研究 第 3 報 第 19 回塑性加工連合講演会前刷集, 433~436, 1968. 11.

ロールフォミングに関する実験的研究 第 1 報 (鈴木・中島・赤堀と共著), 塑性と加工, 10, 97, 1969. 2.

ロールフォミングに関する実験的研究 第 2 報 (鈴木・中島他 3 名と共著), 塑性と加工, 10, 98, 1969. 3.

講師 梅谷 陽二 (Yoji UMETANI)

不可逆過程熱力学のプロセス特性解析への応用―日本機械学会誌, 71, 591, 1968.

講師 荒木 献次 (Kenji ARAKI)

フィードバック空気圧サーボ弁の自励振動―計測自動制御学会学術講演会前刷, 311~312, 1968.

カフィードバック空気圧サーボ弁の発振機構—第 11 回自動制御連合講演会前刷, 215~216, 1968.

助手 (特別研究員) 合田 周平 (Shuhei AIDA)

Decision Mechanisms by the Neural Model IMICTRON. IEEE Pottern Recognition Workshop 論文集, 1968. 8.

海洋開発とエレクトロニクス, エレクトロニクス協議会会報, 32, 1968.

アメリカにおけるロボット研究と今後の問題点, 計測と制御, 計測自動制御学会誌, 7, 12, 1968, 12.

サイバネティックス, 改訂 自動制御便覧, 1968. 11.

第 3 部

教授 森脇 義雄 (Yoshio MORIWAKI)

反復可変論理回路の関数行列による解析と故障診断(渡辺 貞と共著)—昭和 43 年度電子通信学会全国大会論文集, 28, 1968. 10.

NRZ 形磁気ひずみ遅延線路記憶装置(高羽禎雄・木下英実と共著)—昭和 43 年度電子通信学会全国大会論文集, 878, 1968. 10.

S. R. D. 対回路によるピコセカンドパルスの発生(高羽禎雄・愛沢慎一・前原博之と共著)—昭和 43 年度電子通信学会全国大会論文集, 864, 1968. 10.

コンパイラ記述システム(河田 汎と共著)—昭和 44 年電気四学会連合大会講演論文集, 3299, 1969. 3.

教授 沢井善三郎 (Zenzaburo SAWAI)

インバータ誘導電動機系における振動トルクの改善(原島文雄・賀屋和昭と共著)—第11回自動制御連合講演会前刷, 203, 1968. 10.

多転流方式によるインバータ誘導機系の特性改善(原島文雄・賀屋和昭と共著)—昭和44年電気四学会連合大会講演論文集, 518, 1969. 3.

教授 斎藤 成文 (Shigebumi SAITO)

レーザ特集(総説)—電子通信学会誌, 51, 4, 414~417, 電子通信学会, 1968. 4.

レーザを利用した無接触超高压変流器(レーザ CT), (浜崎襄二・藤井陽一・横山幸嗣・大野 豊・志田穆彦と共著)—電気学会雑誌, 88, 959, 171~180, 電気学会, 1968. 8.

レーザ・トランシット(丸安隆和・藤井陽一・関 好正・広野正道と共著)—電子通信学会全国大会, 1968. 10.

L-4 S 型ロケットのレーダによる追跡結果(浜崎襄二・水町守志・亀野要道・関口 豊・市川 満と共著)—宇宙航空研究所報告, 4, 4, 751~760, 東京大学宇宙航空研究

所, 1968. 12.

L-4 S 型のビーコン電波の追跡(野村民也・林 友直・長谷部 望・関口 豊・中嶋邦
宏・西木博信・長江幸昭と共著)―宇宙航空研究所報告, 4, 4, 761, 770, 東京大
学宇宙航空研究所, 1968. 12.

超高圧用マイクロ波変流器(μ 波 CT)(大野 豊・喜連川 隆・中原昭次郎・立川清兵
衛と共著)―三菱電機技報, 42, 12, 1573~1580, 三菱電機株式会社, 1968. 12.

レーザ実用化へのアプローチ―エレクトロニクス, 41~44, オーム社, 1969. 1.

量子エレクトロニクスの開発目標―OHM, 56, 1, 80~84, オーム社, 1969. 1.

Low-Loss Laser Beam Transmission Through Lenses at the Brewster Angle (Coauthors:
Y. Fujii S. Shiraishi)―Proceedings of the IEEE, 57, 1, 78~79, 1969. 1.

He-Ne レーザの雑音(上原信吾と共著)―電気四学会連合大会, 1969. 3.

ロケット搭載用テレビジョン装置の試作, (丹羽登・野村民也と共著)―電気四学会連合
大会, 1969. 3.

教授 尾上 守夫 (Morio ONOE)

導体に近接した有限長コイルの特性(小林洋一と共著)―昭和 43 年電気四学会連合大会,
5, 1968. 3. 31.

輪廓すべり振動の周波数スペクトラム(十文字弘道と共著)―昭和 43 年電気四学会連合
大会, 117, 1968. 3. 30.

曲率のある厚みすべり振動子の解析(岡田勝宏と共著)―昭和 43 年電気四学会連合大会,
118, 1968. 3. 30.

ベクトル電圧計による振動子定数の測定(熊谷 雅と共著)―昭和 43 年電気四学会連合
大会, 1120, 1968. 3. 30.

光弾性遅延回路における遅れエコーの観測(十文字弘道・小林洋一・松永繁樹と共著)―
昭和 43 年電気四学会連合大会, 1143, 1968. 3. 30.

結晶を媒質とした超音波遅延回路(望月雄蔵と共著)―昭和 43 年電気四学会連合大会,
1144, 1968. 3. 30.

ステップ応答による欠陥と低面との識別について(山田博章と共著)―非破壊検査, 17,
2, II-7, 76, 1968.

光弾性による遅れエコーの観測(十文字弘道・小林洋一・松永繁樹と共著)―昭和 43 年
電気四学会連合大会, 17, 2, II-8, 77, 1968.

導体に近接した有限コイルの特性(小林洋一と共著)―昭和 43 年電気四学会連合大会,
17, 2, III-2, 79, 1968.

渦流検査用広帯域移相器(市川初男と共著)―昭和 43 年電気四学会連合大会, 17, 2,
III-3, 80, 1968.

渦流検査用デジタル移相器(高木幹雄・市川初男と共著)―昭和 43 年電気四学会連合
大会, 17, 2, III-4, 81, 1968.

- たて屈曲多重モード振動子の振動解析(十文字弘道と共著)―電子通信学会論文誌A, **51-A**, 3, 110, 1968. 3.
- 変換子の相互較正法に関する考察―日本音響学会講演論文集, 1-1-10, 1968. 4.
- 零温度係数水晶遅延回路(望月雄蔵と共著)―日本音響学会講演論文集, 1-1-11, 1968. 4.
- 非直線結合多重モード振動子(十文字弘道と共著)―日本音響学会講演論文集, 1-1-12, 1968. 4.
- 非直線結合多重モード圧電振動子(十文字弘道と共著)―昭和43年6月20日超音波研究会資料, US 68-5, 1968. 6.
- 最近の水晶発振器の動向―エレクトロニクス, **13**, 8, 977-984, 1968. 8.
- 円板の屈曲振動に対する高次ねじれ波の影響(矢野 健と共著)―電子通信学会論文誌, **15. A**, 6, 247, 1968. 6.
- Multiple Mode Piezoelectric Resonators and Its Application to Filters and Parametric Devices.―Proc 6th International Congress on Acoustics, G-3-6, 1968. 8.
- 配電系統の監視方式の一試案について(高木幹雄・大野 豊と共著)―電気学会東京支部大会, 365, 1968. 10.
- 円柱導体を含む有限長ソレノイド・コイルの磁会分布(小林洋一と共著)―電子通信学会全国大会, **24**, 1968. 10.
- VHF すずまき共振器(山田博章と共著)―電子通信学会全国大会, 1221, 1968. 10.
- 多重モード振動のフィルタ, 発振器およびパラメトリック素子への応用―電子通信学会全国大会, S-9-1, 1968. 10.
- エネルギーとじこめ型多重モード振動子のオーバートーン(能谷 雅と共著)―電子通信学会全国大会, S-9-9, 1968. 10.
- たて屈曲多重モード振動子の諸特性(十文字弘道と共著)―電子通信学会全国大会, S-9-7, 1968. 10.
- 低周波メカニカル遅延線路(砂山益輝と共著)―電子通信学会全国大会, 166, 1968. 10.
- 導体に近接した有限長ソレノイドコイルの解析―電気学会雑誌, **88-10**, 961, 1894-1902, 1968. 10.
- SMD 電磁検査への応用(市川初男と共著)―非破壊検査, **17**, 8, III-1, 338, 1968. 8.
- 渦流検査用貫通型コイルの磁界(小林洋一と共著)―非破壊検査, **17-8**, III-2, 339, 1968. 8.
- 渦流検査における多重信号処理(高木幹雄・市川初男と共著)―非破壊検査, **17**, 8, III-3, 340-1968. 8.
- 探触子の絶対感度較正法―非破壊検査, **17**, 8, II-1, 332, 1968. 8.
- 二周波探触子(山田博章と共著)―非破壊検査, **17**, 8, II-2, 333, 1968. 8.
- 高結合圧電セラミックの測定法―電子通信学会, 電子回路部品材料研委, 資料番号, CPM 68-43, 1968. 12.

Analysis of Flexural Vibrations of a Circular Disk (矢野 健と共著)—Traus. IEEE. SU-15, 3, 182-185, 1968. 7.

板波 (SH 波) の反射 (上野 立と共著)—日本音響学会講演論文集, 3-1-10, 1968. 11.

相互較正法における短絡感度積の測定—日本音響学会講演論文集, 3-1-2, 1968. 11.

光弾性遅延線路の直線動作 (十文字弘道・小林洋一と共著)—日本音響学会講演論文集, 3-1-12, 1968. 11.

2 周波共用変換子 (山田博章と共著)—日本音響学会講演論文集, 3-1-7, 1968. 11.

テレメータ用振動子 (高木幹雄と共著)—日本音響学会講演論文集, 3-1-8, 1968. 11.

屈曲振動の節点と辺比の関係 (十文字弘道と共著)—日本音響学会講演論文集, 3-1-9, 1968. 11.

円板の屈曲振動の解析 (矢野 健と共著)—電子通信学会誌, 51 A, 2, 75~78, 1968. 2.

教授 安達 芳夫 (Yoshio ADACHI)

MOS トランジスタの静特性と低周波雑音特性における異常現象 (茅根直樹・上村幸守・生駒俊明と共著)—電子通信学会全国大会講演論文集, 777, 1968. 10.

MOS トランジスタの低周波雑音に及ぼすバルクの性質の影響 (茅根直樹・上村幸守・生駒俊明と共著)—電気四学会連合大会講演論文集, 1803, 1969. 3.

信頼性用語 JIS 案について, 標準化と品質管理, 21, 9, 65~72, 1968. 9.

教授 浜崎 襄二 (Joji HAMASAKI)

レーザ電磁回路素子—電子通信学会誌, 51, 4, 488, 1968. 4.

最平坦通過特性を持つ帯域遮断濾波器 (赤尾宗一と共著)—電子通信学会マイクロ波研究会資料, MW 68~39, 1968. 9. 24.

“Signal-to-Noise Ratios for Hologram Images of Subjects in Strong Incoherent” Lighto Applied Optics 7, 8, 1968. 8.

マイクロ波集積回路の設計の諸問題ストリップ線回路を中心として—昭和 44 年電気四学会連合大会講演論文集, 3, 7~2, 1969. 3.

超伝導を用いたマイクロ波フィルタの基礎実験 (高野 忠と共著)—昭和 44 年電気四学会連合大会講演論文集, 1497, 1969. 3.

直線性の高い 360° 可変ダイオード移相器 (座間知之と共著)—昭和 44 年電気四学会連合大会講演論文集, 1620, 1969. 3.

超高速パルス再生変調器 (岡田三男と共著)—昭和 44 年電気四学会連合大会講演論文集 1626, 1969. 3.

助教授 河村 達雄 (Tatsuo KAWAMURA)

Japanese Method of Artificial Pollution Tests on Insulators (Coauthors: Shuhei Fujitaka, Sakuro, Tsurumi, Hiroshi Kondo Taisuke Seta Mitsuyoshi Yamamoto)

IEEE Transactions on Power Apparatus and Systems PAS-87, 3, 729~735, 1968. 3.

Investigation on the Results of the Observation using the Pierce-Golde Type Lightning Flash Counter in Japan (Coauthors: Shuhei Fujitaka, Sakuro Tsurumi) Fourth International Conference on the Universal Aspects of Atmospheric Electricity 4 A-3, 1968. 5.

Investigation on the Results of the Observation using the Pierce-Golde Type Lightning Flash Counter in Japan (Coauthors: Shuhei Fujitaka, Sakuro Tsurumi, Yutaka Hirose, Katsuhiro Kinoshita) CIGRE Study Committee No. 8, Lightning and Surges, Working Group: Lightning Flash Counter 1968. 6.

がい子形状とアーク数を考慮に入れた平等汚損せん絡特性の解析(伊坂勝生と共著)―高電圧技術研究会資料, 30~14, 1968. 7.

雷放電カウンタによる大地放電数の実測, 電気評論, 53, 7, 935~939, 1968. 7.

アーク数によるがいし平等汚損せん絡特性の解析(伊坂勝生と共著)―昭和 43 年電気学会東京支部大会論文集, 247, 1968. 10.

不平等汚損せん絡特性の解析(伊坂勝生と共著)―昭和 43 年電気学会東京支部大会論文集, 248, 1968. 10.

汚損面における吸湿, 漏れ電流, フラッシュオーバー特性の湿度依存性について(伊坂勝生と共著)―高電圧技術研究会資料, 31~19, 1968. 11.

急しゅん波測定系のレスポンス時間の検討(大平矩史と共著)―電気学会試験電圧標準特別委員会, 絶縁試験法小委員会資料, 984 B, 1969. 1.

雷放電カウンタによる放電数比較測定結果の検討(難波克明と共著)―昭和 44 年電気四学会連合大会論文集, 1163, 1969. 3.

雷放電カウンタによる放電数分布と事故率との相関(田代文之助・北條準一と共著)―昭和 44 年電気四学会連合大会論文集, 1163, 1969. 3.

急しゅん波測定系のレスポンス時間におよぼす二, 三の要因(大平矩史と共著)―昭和 44 年電気四学会連合大会論文集, 1172, 1969. 3.

汚損せん絡現象に影響ある諸因子の湿度依存性について(伊坂勝生と共著)―昭和 44 年電気四学会連合大会論文集, 1265, 1969. 3.

助教授 山口 楠雄 (Kusuo YAMAGUCHI)

グラフィック・ディスプレイ装置の試作(鈴木俊光・桜井正郎と共著)―昭和 44 年電気四学会連合大会論文集, 1969. 3.

デジタル・アナログ方式によるハイブリッドタイマ(第3報)(鈴木俊光・皇中俊郎と共著)―昭和 44 年電気四学会連合大会論文集, 1969. 3.

助教授 安田 靖彦 (Yasuhiko YASUDA)

新聞用広帯域ファクシミリ の三値高速度伝送方式(野村民也・村田悠紀夫・野辺田 繁と共著)―電気四学会連合大会論文集, 2063, 1968, 4.

時間的に量子化されない二値信号の高速度伝送について(野村民也・村田悠紀夫と共著)
電気四学会連合大会論文集, 2031, 1968. 4.

二相位相変調波同期検波方式の位相およびタイミングジッタが誤り率に与える影響(野
辺田 繁と共著)—電気四学会連合大会論文集, 2052, 1968, 4.

宇宙飛しょう体の PCM テレメータ: PCM の基礎と新技術(猪瀬 博編)—第 10 章
産報, 1968. 6. 10.

高密度符号伝送の一方式(野辺田 繁と共著)—電子通信学会全国大会, 1249, 1968. 10.

高密度伝送方式と多値伝送方式の誤り率による比較(野辺田 繁と共著)—電子通信学会
全国大会, 1250, 1968. 10.

紙面電送用広帯域ファクシミリの高速度伝送装置(野村民也・野辺田 繁・他学外 3 名
と共著)—電気四学会連合大会, 2292, 1969. 3.

高密度符号伝送の基礎実験(野辺田 繁と共著)—電気四学会連合大会, 2674, 1969. 3.

高密度データ伝送, S. 11 データ通信における諸問題(高川 洋・高木幹雄と共著)—電
気四学会連合大会, 1969. 3.

助教授 高羽 禎雄 (Sadao TAKABA)

磁わい遅延線の応用—電気学会機械振動系機能部品専門委員会資料, 2~6, 1968. 6.

SRD 対回路によるピコセカンドパルスの発生(森脇義雄・愛沢慎一・前原博之と共著)
—昭和 43 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 864, 1968. 10.

NRZ 形磁気ひずみ遅延線路記憶装置(森脇義雄・木下英実と共著)—昭和 43 年度電子
通信学会全国大会講演論文集, 878, 1968. 6.

パルス回路およびデジタル回路—電気工学年報昭和 43 年度版, 4・2, 4・3 を分担執筆,
1968. 12.

助教授 藤井 陽一 (Yōichi FUJII)

レーザの原理とその応用(大野 豊と共著)—電気評論, 1968. 4.

くりかえしレンズによるレーザ伝送実験(白石 敏・伊藤孝雄・三好正美と共著)—昭
和 43 年連合大学講演論文集, 1968. 4.

ルビーレーザのモードロック(岩本明人と共著)—昭和 43 年連合大学講演論文集, 1968. 4.

レーザ光検出器—電子通信学会誌, 151, 479~487, 1968. 4.

直流大電流用レーザ CT/レーザセルシン(白石 敏・浜口 新と共著)—量子エレクト
ロニクス資料, 1968. 6.

プリュスタレンズによる低損失レーザ・ビーム伝送(伊藤孝雄・白石 敏・三好正美と
共著)—量子エレクトロニクス資料, 1968. 6.

Contact-Free Current Transformer for Extra-High-Voltage Rower Lines by Using
Laser Light (Laser CT) (Coauthors: S. Saito, J. Hamasaki・K. Yokoyama・
Y. Ono・T. Mtui)—J. I. E. E of Japan 1968. 8.

レーザ通信への応用「レーザの通信・情報処理計測への応用と実用化上の技術的諸問

題」1~25, 1968. 11.

レーザのテレメータ遠隔制御への応用「エレクトロニクス」13, 7, 817~823, 1968. 7.

レーザによる電流の測定「エレクトロニクス・ダイジェスト」119号, 85~91, 1968. 11.

新しい光レーザ「つぎの電子技術のにない手」(大野 豊と共著)

レーザによる電子ビーム雑音軽減係数の測定(岩本明人と共著)一昭和 43 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 1968. 11.

直流大電流用レーザ CT/レーザセルシン (白石 敏・浜口 新・伊藤孝雄と共著)一昭和 43 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 1968. 11.

レーザ・トランシット(丸安隆和・斎藤成文・関 好正・広野正道と共著)一昭和 43 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 1968. 11.

Low-Loss Laser Beam Transmission Through Lenses at the Brewster Angle
[Proceedings of the IEEE] 57, 1, 78~79, 1968. 1.

CAVITY TYPE レーザ光変調(滝本英之と共著)一昭和 44 年度全国大会講演論文集, 1969. 3.

レーザ・ダイオードのマイクロ波変調(西本博信と共著)一昭和 44 年度全国大会講演論文集, 1969. 3.

ケーブルトラフを用いたレーザ・ビーム伝送路の実験(伊藤孝雄・青山賢三郎・小本 喬・平野公男と共著)一昭和44年度全国大会講演論文集, 1969. 3.

ブリュスターレンズ整合の諸条件(伊藤孝雄と共著)一昭和 44 年度全国大会講演論文集, 1969. 3.

同一レーザ・ビームによる電流電圧計測(滝本英之・井上雅文・中川重雄と共著)一昭和44年度全国大会講演論文集, 1969. 3.

レーザによる PT の基礎実験(鳴河輝夫・浜口 新・井上雅文・中川重雄と共著)一昭和 44 年度連合大会講演論文集 1969.3

量子エレクトロニクス「フジスチールデザイン」12~13, 1969. 1.

助教授 高木 幹雄 (Mikio TAKAGI)

渦流検査における多重信号処理(尾上守夫・市川初男と共著)一昭和 43 年度 NDI 秋季大会, III-3, 1968. 10.

データ伝送における歪補償方式に対する学習期間の雑音の影響について(藤本 洋・野村義夫と共著)一昭和 43 年度電子通信学会全国大会講演論文集, 1033, 1968. 10.

配電系統の監視方式の一試案について(尾上守夫・大野 豊と共著)一昭和 43 年度電気学会東京支部大会講演論文集, 365, 1968. 10.

テレメータ用振動子(尾上守夫と共著)一日本音響学会秋季研究発表会講演論文集, 3~1~8, 1968. 11.

高速度データ伝送(宮川 洋・安田靖彦と共著)一昭和 44 年度電気四学会連合大会講演

論文集, 11~4, 1969. 3.

磁歪遅延線検査装置(藤本 洋と共著)—昭和 44 年度電気四学会連合大会講演論文集, 25~93, 1969. 3.

データ伝送における歪補償方式のアイパタンについて(藤本 洋と共著)—昭和 44 年度電気四学会連合大会講演論文集, 2687, 1969. 3.

同期方式 PCM の基礎と新技術, 248~306, (産報, 1968)

助教授 原島 文雄 (Fumio HARASHIMA)

状態推移法によるインバータ誘導電動機系の解析(内田克己と共著)—第 7 回計測自動制御学会学術講演会予稿集, 404, 1968. 9.

インバータ誘導電動機系における振動トルクの改善(沢井善三郎・賀屋和昭と共著)—第 11 回自動制御連合講演会前刷 203, 1968. 10.

インバータで駆動される誘導電動機の特性(内田克己と共著)—昭和 44 年電気四学会連合大会講演論文集, 517, 1969. 3.

多転流方式によるインバータ誘導電動機系の特性改善(沢井善三郎・賀屋和昭と共著)—昭和 44 年電気四学会連合大会講演論文集, 518, 1969. 3.

助教授 生駒 俊明 (Toshiaki IKOMA)

電子遷移効果発振の動作解析(柳井久義・菅田孝之・鳥塚英樹と共著)—電子通信学会半導体トランジスタ研究会, SSD-68-13, 1968. 6.

ガン効果を用いたニューロデジタル素子(柳井久義・菅田孝之と共著)—昭和 43 年日本 ME 学会第 7 回大会, 174, 1968. 7.

Observations of Current Waveforms of the Transferred-Electron Oscillators (Coauthors: H. Yanai, H. Toritsuka)—7th the International Conference on Minowave and Optical Generation and Amplification, 1968. 9.

ガン効果材料の実効特性量の測定(柳井久義・菅田孝之・田島裕介と共著)—昭和 43 年度電子通信学会全国大会, 694, 1968. 10.

電気二重層の生成過程の解析 (柳井久義・菅田孝之と共著)—電子通信学会全国大会, 699. 1968. 10.

MOS トランジスタの静特性と低周波雑音特性における異常現象 (茅根直樹・上村幸守・安達芳夫と共著)—昭和 43 年度, 電子通信学会全国大会, 777, 1968. 10.

ガン効果を用いた機能素子, 応用物理, 37, 11, 1045~1050, 1968. 11.

LSA 発振動作の解析的理論と実験 (柳井久義と共著), 電子通信学会一論文誌 C, 51-C, 12, 557~564, 1966. 12.

折線近似によるガン効果の定常電気二重層の解析(柳井久義・鳥塚英樹共著)—電子通信学会論文誌 C, 51-C, 12, 565~572, 1968. 12.

電気二重層の過渡特性消滅過程について(柳井久義・菅田孝之と共著)—昭和 44 年電気

四学会連合大会, 1960, 1968. 3.

MOS トランジスタの低周波雑音におよぼすバルクの性質の影響—昭和 44 年電気四学会連合大会, 1803, 1968. 3.

講師 長谷部 望 (Nozomu HASEBE)

円偏波十文字スロットアンテナ—信学会・アンテナ・伝播研究会, 68~48, 1968. 11.
トラッキング (斎藤と共著), 航空学会誌, 17, 180, 1969. 1.

5, 6 GHz コニカルスキャンニングアンテナの一次放射器, 昭 44 年四学会連合大会, 1969. 3.

第 4 部

教授 菊池 眞一 (Shin-ichi KIKUCHI)

写真の分光増感作用の研究 (第 11 報) 酸化亜鉛種子に吸着した感光性色素の電子エネルギー単位の計算と酸化亜鉛の光伝導の分光増感作用の考察 (谷 忠昭と共著)—工化誌, 71, 182, 1968.

写真の分光増感作用の研究 (第 12 報) ポーラログラフおよび分子軌道法による写真用色素の電子エネルギー単位の作製 (谷 忠昭・本多健一・河村恭子と共著)—工化誌, 71, 37, 1968.

写真の分光増感作用の研究 (第 13 報) π 電子エネルギー単位, ポーラログラフ半波電位および励起エネルギーに基づく色素の分光増感作用の考察 (谷 忠昭・本多健一と共著)—工化誌, 71, 42, 1968.

写真の分光増感作用の研究 (第 14 報) 分子軌道法とポーラログラフに基づくキサンテン系色素の π 電子エネルギー単位の計算と写真作用の考察 (谷 忠昭・細谷一雄と共著)—工化誌, 71, 322, 1968.

塩化銀写真乳剤中の色素の電子エネルギー単位の計算と分光増感の考察 (谷 忠昭と共著)—工化誌, 71, 604, 1968.

分子軌道法, ポーラログラフおよび吸収スペクトルによる感光色素の仕事関数の決定 (谷 忠昭・本多健一・岡田宏一郎と共著)—工化誌, 71, 606, 1068.

ハロゲン銀に吸着した写真用増感色素の蛍光と消光と分光増感作用の考察 (谷 忠昭・関口 徹と共著)—工化誌, 71, 631, 1968.

ポーラログラフ半波電位に基づく色素の電子親和力の決定と分光増感作用の考察 (谷 忠昭と共著)—工化誌, 71, 797, 1968.

酸化亜鉛に吸着した感光色素のイオン化エネルギー, 電子親和力および仕事関数の決定 (谷 忠昭と共著)—工化誌, 71, 1286, 1968.

ハロゲン化銀に吸着した写真用色素の蛍光の消光と吸着色素によるハロゲン化銀の光分解の分光増感 (谷 忠昭・関口 徹と共著)—工化誌, 71, 1788, 1968.

Modified Electron Transfer Mechanism for Spectral Sensitization in Photography
(Coauthors: Tadaaki TANI, Ken-ichi HONDA)—Phot. Sci. Eny., 12, 80, 1968.

教授 江上 一郎 (Ichiro EGAMI)

プラズマジェット製の鍍への応用, 炭素還元法 (第2報) (明石和夫・石塚隆一と共著)
—日本鉱業会誌, 84, 959, 355, 1968.

アルゴンプラズマジェットによるボロンの溶解および凝固後の 2, 3 の性質 (第2報)
(明石和夫・石塚隆一・小倉正夫と共著) 電気化学協会第 35 回大会講演要旨集, D.
35, 1968. 4.

教授 浅原 照三 (Teruzo ASAHARA)

α, α, ω -テトラクロロアルカンの熱安定性 (平野二郎と共著)—石油学会誌, 11, 94,
1968.

芳香族炭化水素とエチレンとのテロメリゼーション (佐藤 琮と共著)—工化誌, 71,
1523, 1968.

The Cationic Telomerization of Butadiene with Its Hydrochloride (Coauthor: Hideo
Kise) Bull. Chem. Japan Petrol. Inst., 10, May 50 1968.

エタン 1, 1, 2, 2 テトラカルボン酸=無水物からポリイミドの合成 (福井基雄と共著)
—工化誌, 71, 918, 1968.

Thin Layer Chromatographic Analysis of Poly (oxy ethylene) nonyl phenol (Coau-
thor: Shigeo Hayano)—Tenside, 5, 80, 1968.

Reactions of Peroxides. I. (Coauthors: Leonard S. Silber T, Daniel Swern)—J. Org.
Chem., 33, 3671, 1968.

フェロセンポリマ (市川洋祐と共著)—有機化, 26, 1020, 1968.

Electrolytic Reduction of Naphthalene in Various Alcohol Hexamethyl Phosphoramide
System (Coauthors: Manabu Senō, Hideaki Kaneko)—Bull. Chem. Soc. Japan, 41,
12, 2985, 1968.

電解重合による金属表面処理の研究 (第1報) (妹尾 学・土屋 満と共著)—金属表面技
術, 19, 511, 1968.

電解重合による金属表面処理の研究 (第2報) (妹尾 学・土屋 満と共著)—金属表面技
術, 20, 2, 1969.

電解重合による金属表面処理の研究 (第3報) (妹尾 学・土屋 満と共著)—金属表面技
術, 20, 28, 1969.

電解重合による金属表面処理の研究 (第4報) (妹尾 学・土屋 満と共著)—金属表面技
術, 20, 64, 1969.

電解重合による金属表面処理の研究 (第5報) (妹尾 学・土屋 満と共著)—金属表面技
術, 20, 99, 1969.

教授 加藤 正夫 (Masao KATO)

- 放射化トレーサ法によるアルミニウム合金の腐食に関する研究(井上 健と共著)―軽金属学会春期大会講演概要, 117~118, 1968. 5.
- 塩化カルシウムおよび塩化ナトリウム溶液中での 5083, 6061 アルミニウム合金の腐食について(井上 健と共著)―軽金属学会春期大会講演概要, 145~146, 1968. 5.
- Studies on Dynamic Corrosion of Aluminium and its Alloys in Tap Water (Coauthor: K. Inoue) Metallurgical Abstracts on Light Metals and Alloys III, 70~76, 1968, 7.
- 水中微量不純物がアルミニウムの腐食におよぼす影響について―軽金属, 18, 10, 530~538, 1968. 10.
- アルミニウムの水腐食について (第1報, 第2報) (井上 健らと共著)―軽金属学会秋期大会講演概要, 31~34, 1968, 11.
- 新しい高力アルミニウム合金鋳物―軽金属協会, アルミニウム鋳物委員会幹事長として編集, 189, 1968. 12.
- わが国のアイソトープ装備機器の現状と将来, Isotope news 174, 2~4, 1969. 1.

教授 野崎 弘 (Hiroshi NOZAKI)

- 多層構造記録紙による帯電特性(豊島喜則・飯田武揚と共著)―電子写真学会, 第22回研究対論会要旨, 28, 1968. 11.
- 膜現象の化学, 日本ソーダ工業会, ソーダ工業技術研究会資料, 5, 1968. 9. 20.
- 酸化チタン樹脂分散層のコロナ帯電特性 (第4報) (飯田武揚・鈴木弘治と共著)―電子写真学会, 第22回研究対論会要旨, 19, 1968. 11. 30.
- Rectification Effects Using Polyelectrolyte Solutions (Coauthors: M. Seno, K. Shimizu) Bulletin of the Chemical Society of Japan 41, 802~809, 1968.
- The Rectification Effects Using the Ices Doped with Electrolytes (Coauthors: M. Seno, Y. Yoshida, K. Shimizu) Bulletin of the Chemical Society of Japan 41, 325~330, 1968.
- 白金板を陽極とする水溶性樹脂の泳動電着(中村好男・安藤司郎と共著)―工化誌, 71, 9, 1475, 1968.
- シリコン単結晶の塩化水素ガスによる気相鏡面研磨(岡崎重光と共著)―工化誌, 71, 3, 327, 1968.
- Contact Potential in Vacuum for Titanium Dioxide Powder; (Coauthor: T. Tuda) Bulletin of the Chemical Society of Japan 42, 1, 243~244, 1969.

教授 山辺 武郎 (Takeo YAMABE)

- イオン交換膜の異常導電現象の研究(妹尾 学と共著)―旭硝子工業奨励会研究報告, 13, 213, 1968. 6.

混合イオン交換カラムによるアミノ酸の群分離 (山県和子・妹尾 学と共著)一日化誌, 89, 8, 772, 1968. 8.

The Thin Layer Chromatography of Condensed Phosphates-Bull. Chem. Soc. Japan. 41, 8, 1959. 1968, 8.

イオン交換樹脂に関する理論の進歩(総説)—高分子, 17, 4, 306. 1968. 4

イオン交換膜電気透析法—総括—(総説)—海水誌, 22, 11, 8. 1968. 4

分析化学進歩総説, 5, イオン交換—分析化学, 17, 13, 50 R, 1968. 12

教授 武藤 義一 (Giichi-MUTO)

液体クロマトグラフィにおけるアミノ酸の電量的検出法 (高田芳矩らと共著)—分析化学, 17, 12, 3, 1968. 12

フッ素イオン活量電極によるフッ素の電量滴定 (野崎 健と共著)—分析化学, 18, 2, 247, 1969. 2

新しい微量ガス分析法 (ガスクロメトリ) (高田芳矩と共著)—分析機器, 6, 5, 287, 1968. 5

教授 今岡 稔 (Minoru MAOKA)

テルライト系のガラス化範囲について (山崎敏子と共著), 窯協, 76, 160, 1968.

助教授 西川 精一 (Seiichi NISHIKAWA)

Cu-Co 合金の時効について (長田・小林と共著)—日本金属学会誌, 32, 4, 340-345, 1968

純度の異なる Al—0.3Wt.% Zr 合金の析出硬化とその再結晶特性について (長島・沢口・小林と共著)—軽金属, 18, 10, 517-523. 1968.

Some Metallurgical Investigations on Pb-Sn-Sb Alloy for Cable Sheathing (Coauthors: N. Nagashima, T. Kasahara)—Proceeding of the 3rd International Conference on Leadat Venice held on 18 to 20 September 1968.

ケーブル鉛被用 Pb-Sn-Sb 系合金に関する研究 (長島・笠原と共著)—鉛と亜鉛, 27, 1, 48-59. 1969

助教授 原 善四郎 (Zenshiro HARA)

還元析出銅粉の形状 (阿部照衛と共著)—粉体粉末冶金協会昭和 43 年春季大会講演概要集, 20, 1968

側方通電焼結法に関する研究 (坂井徹郎と共著)—粉体粉末冶金協会昭和 43 年春季大会講演概要集 22, 1968

助教授 後藤 信行 (Nobuyuki GOTOH)

3-ヨードならびに 3-ブロムペリレンの合成 (古賀悦之・高坂 忠と共著)—工化誌,

72, 3, 1969.

α , α' -ジナフチルアミンおよび N, N'-ジ (α -ナフチル)-1, 4-ナフチレンジアミンの合成 (園部 寛と共著)—日本化学会第 21 年会予稿集 4, 2542, 1968.

有機化学ハンドブック (全改訂版) 第 1 編 8, 炭素-ハロゲン結合をつくる反応, p. 223, 第 IV 編 有機工業薬品, 1675, 有機合成化学協会編 (技報堂刊), 1968.

助教授 河添 邦太郎 (Kunitaro KAWAZOE)

物質移動を伴う充填層内の軸方向混合 (川井と共著)—化学工学協会 33 年会, 講演要旨集, 34~36, 1968. 4.

クロマトグラフのパルス波形に関する一考察 (川井・武口と共著)—化学工学協会 33 年会講演要旨集, 37~39, 1968. 4.

合成ゼオライトの新しい工業利用 (川井と共著)—化学工場, 12, 5, 91~95, 1968. 5.

プラント内の流れ—第 8 回アイソトープ会議論文集, 276~278, 1968. 5.

吸着—化学工業便覧, 12 章, 765~805, 丸善, 1968. 5.

多孔性イオン交換樹脂の粒内拡散係数 (竹内・武口と共著)—化学工学, 32, 7, 716~717, 1968. 7.

活性炭触媒における沃素—水素反応 (呉と共著)—化学工学協会秋季大会前刷, 17~18, 1968. 10.

核燃料再処理廃ガス中の放射性希ガスの吸着除去 (川井・室角と共著)—化学工学協会秋季大会前刷, 221~222, 1968. 10.

錯体抽出に伴う反応速度 (黒沢と共著)—化学工学協会秋季大会前刷, 185~186, 1968. 10.

物質移動を伴う充填層内の軸方向混合について (川井と共著)—化学工学, 32, 11, 1122~1127, 1968. 11.

助教授 早野 茂夫 (Seigeo HAYANO)

Thin Layer Chromatographic Analysis of Polycoxyethylene Nonylphenol Ether (Coauthors: T. Nihongi, T. Asahara)—Tenside, 5, 80, 1968.

Relation between Rf- and HLB-values of Surface Active Agents in Thin Layer Chromatography (Coauthor: T. Asahara)—Preprint of Vth Int. Cong. of Surface Active Agents, Barcelona, B III 126, 1968. 9.

ポーラグラフィによる分散染料可溶化の研究 (篠塚則子と共著)—染色工業, 16, 11, 1, 1968.

ビルメンテナンスと界面活性剤 (上) (下)—ビルメンテナンス, 8, 36; 9, 27, 1968.

界面活性剤入門 (1), 火災, 18, 221, 1968.

助教授 明石 和夫 (Kazuo AKASHI)

プラズマジェット製の製錬への応用, 炭素還元法 (第 2 報)—(江上一郎・石塚隆一と共

- 著)日本鋳業会誌, 84, 959, 355, 1968.
単体ボロンの溶融, 精製と2, 3の性質, 融解塩電解によるボロンの製造(第2報)―(河村和孝と共著)―金属材料技術研究所報告, 11, 61, 1968.
アルゴンプラズマジェットによるボロンの溶解および凝固後の2, 3性質(第2報)―(江上一郎・石塚隆一・小倉正夫と共著)―電気化学協会第35回大会講演要旨集, D. 35, 1968. 4.

助教授 本多 健一 (Ken-ichi HONDA)

- ポーラログラフおよび分子軌道法による写真用色素の電子エネルギー準位図の作製(谷忠昭・河村恭子・菊池眞一と共著)―工化誌, 71, 37, 1968.
 π 電子エネルギー準位ポーラログラフ半波電位および励起エネルギーに基づく色素の分光増感作用の考察(谷忠昭・菊池眞一と共著)―工化誌, 71, 42, 1968.
ポーラログラフィ〔Ⅱ〕―染料と薬品, 13, 41, 1968.
銀塩材料(白黒)―マテリアルスクールバ印写材料コース, 2, 日刊工業, 1~62, 1968.
Modified Electron Transfer Mechanism for Spectral Sensitization in Photography (Coauthors: Tadaaki Tani, Shin-ichi Kikuchi)―Phot. Sci. Eng., 12, 80, 1968.
分子軌道法, ポーラログラフおよび吸収スペクトルによる感光性色素の仕事関数の決定(谷忠昭・菊池眞一・岡田宏一郎と共著)―工化誌, 71, 606, 1968.
励起状態の電極反応(その1)―電子エネルギー準位と電極電位(谷忠昭と共著)―電気化学, 36, 700, 1968.
光電気化学―工化誌, 72, 63, 1969.
チオニンの励起状態における電極反応(徳田耕一・池上伸・菊池眞一と共著)―工化誌, 72, 105, 1969.
TiO₂ 半導体電極における光増感電解酸化(藤嶋昭・菊池眞一と共著)―工化誌, 72, 103, 1969.
光励起された色素の酸化還元反応としての写真の分光増感(修正電子伝達機構)―(谷忠昭・菊池眞一と共著)―工化誌, 72, 129, 1969.
光学技術ハンドブック(現象・定着の項を報筆)―朝倉書店, 1968.

助教授 妹尾 学 (Manabu SENŌ)

- Rectification Effecto using Polyelectrolyte Solutions (Coauthors: K. Shimizu, H. Nozaki)―Bull. Chem. Soc. Japan, 41, 4, 802~809, 1968.
Rectification Effecto using the Ices Doped with Electrolytes (Coauthors: K. Shimizu, H. Nozaki)―Bull. Chem. Soc. Japan, 41, 10, 2325~2330, 1968.
Electrolytic Reduction of Naphthalene in Various Alcohol-Hexamethylphosphoramide Systems (Coauthors: T. Asahara, H. Kaneko)―Bull. Chem. Soc. Japan, 41, 12, 2985~2989, 1968.
電解重合による金属表面処理の研究(浅原・土屋と共著), 金属表面技術, 19, 12, 511~

513, 1968; 20, 1, 2~51969; 20, 1, 28~31, 1969.

The Role of Surface Active Agent on Polymerization on Hydroxylic Surfaces,
(Coauthor: T. Asahara), V th International Congress on Surface Active Substances,
Reprint B/Ⅲ, 125, 1968. 9.

助教授 竹内 雍 (Yasushi TAKEUCHI)

多孔性イオン交換樹脂の粒内拡散係数 (河添・武口と共著)—化学工学, 32, 7, 716~
717, 1968. 7.

助教授 石田 洋一 (Yoichi ISHIDA)

Recovery Processes during Creep of Fe-0.75% Mn—Trans, Japan Inst. Metals, V 9,
120, 1968.

Dislocation Images on the Grain Boundary and their Behavior at Elevated Temperatures
(Coauthors: T. Hasegawa, F. Nagata)—Proceedings of the International
Conference on the Strength of Metals and Alloys, Trans. Japan Inst. Metals, V 9,
504, 1968.

金属結晶粒界の微細構造 (長谷川・永田と共著)—日本物理学会第 23 回年会講演予稿集
3, 179, 1968.

クリープ粒界すべりの機構 (長谷川・永田と共著)—日本金属学会第 62 回 (春期) 講演
概要集 179, 1968.

大傾角粒界の微細構造 (長谷川と共著)—日本金属学会第 63 回 (秋期) 講演概要集 229,
1968.

助教授 高橋 浩 (Hiroshi TAKAHASHI)

カオリン鉱物の水酸化ナトリウム処理によるホージャサイトの合成 (西村陽一と共著)—
日本化学雑誌, 89, 373, 1968.

酸化亜鉛の構造不整と触媒活性 (堤 和男と共著)—工化誌, 71, 1345, 1968.

酸化亜鉛の構造不整と溶解熱 (堤 和男と共著)—工化誌, 71, 1349, 1968.

石英の構造不整と水への浸せき熱 (堤 和男と共著)—工化誌, 71, 1443, 1968.

ゼオライト触媒の静電場の熱的測定 (第 2 報) シリカ/アルミナモル比の影響 (堤 和
男と共著)—触媒 (第 23 回触媒討論会予稿集) 10, 116, 1968.

接触分解用ゼオライト触媒—化学と工業, 21, 1287, 1968.

ハロイサイトから合成した A 型ゼオライトの吸着特性 (西村陽一と共著)—日本化学雑
誌, 90, 138, 1969.

モルデナイトの構造と特性 (西村陽一と共著)—表面, 7, 75, 1969.

Formation of Faujasite-Like Zeolite from Halloysite (Coauthor: Yoichi Nishimura)
—Clays and Clay Minerals, 16, 399, 1968.

助手 佐藤 乙丸 (Otomaru SATO)

放射線および放射性同位元素—電気工学年報昭和43年度版, 435~7, 1969. 2.

放射線応用計測器の統濟性, 經濟性の評価—原子力工業, 14, 11, 13~8, 1968. 11.

第 5 部

教授 星 埜 和 (Kano HOSHINO)

道路行政に望むもの—道路建設, 246, 1968. 7.

高速道路の安全性—高速道路と自動車, 11~12, 1968. 12.

道路と自動車—自動車技術, 22~4, 1968. 4.

教授 丸 安 隆 和 (Takakazu MARUYASU)

鉄筋コンクリート構造物の自動設計・自動製図 (中村英夫・その他と共著)—コンクリート・ジャーナル, 6, 1, 1968. 1. 日本コンクリート会議.

実体写真による自由曲面の測定, 精密機械, 34, 1, 1968, 日本精密機械学会.

Short Range Photogrammetry of Object in Motion (Coauthor: T. Oshima) Invited Paper of IXth International Congress of Photogrammetry, 1968.

航空写真による積雪分布および積雪量の解析方法に関する研究 (田浦秀春・内田正人と共著)—土木学会論文集, 土木学会, 153, 1968. 8.

計算機時代における土木設計の趨勢 (村井俊治・若林芳夫と共著)—土木学会誌, 土木学会, 53, 8, 1968, 8.

都市における自然災害とくに崖崩れの危険度予知についての研究 (清水 仁・島田厚二と共著)—土木学会論文集, 土木学会, 159, 1968, 11.

教授 勝 田 高 司 (Takashi SHODA)

建物列による風の遮蔽に関する風洞模型実験 (土屋喬雄・村上周三と共著)—日本建築学会論文報告集, 155, 41~49, 1969. 1.

実在都市の市街地気流に関する風洞模型実験 (土屋喬雄・村上周三と共著)—日本建築学会論文報告集, 156, 1969. 2.

残響室におけるダクト開放端の反射減衰について (安岡正人・板本守正・寺尾道仁と共著)—日本建築学会論文報告集, 号外, 51, 1968. 10.

コンクリート・アパートの空気汚染 (寺沢達二・村上周三・板本守正・片山忠久・塘 直樹と共著)—日本建築学会論文報告集, 号外, 99, 1968. 10.

地域熱需要の要因の行列表示について (寺沢達二・石井昭夫・安孫子義彦と共著)—日本建築学会論文報告集, 号外, 135, 1968. 10.

室内気流分布の数値解法について (土屋喬雄と共著)—日本建築学会論文報告集, 号外, 175, 1968. 10.

コークス消火塔模型実験について (土屋喬雄・市川智章・正田良次と共著) 日本建築学会論文報告集, 号外, 191, 1968. 10.

コンクリート・アパートにおける屋内気候要素の相関分析 (寺沢達二・村上周三と共著) 日本建築学会論文報告集, 号外, 253, 1968. 10.

コンクリート・アパートにおける結露の要因について (寺沢達二・村上周三・片山忠久と共著) 日本建築学会論文報告集, 号外, 255, 1968. 10.

教授 久保慶三郎 (Keizaburo KUBO)

構造物基礎の耐震設計—カラム, 1968. 8.

材料力学通論 (7, 8, 9章)—東大出版会, 1968. 11.

地震と構造物の応答・設計—土木施工, 1968. 11.

Vibration Test of a Structure Supported by Pile Foundation—Proc. of 4th World Conference of Earthquake Eng. 1969. 1.

教授 池辺 陽 (Kiyoshi IKEBE)

集合住宅高層化への指標—建築文化, 265.

設計方法—日本建築学会, 1968. 10.

HUP REPORT 2—プレハブ建築協会, 1968. 12.

住居分類指標—住居設計のシステム化のために—日本建築学会大会学術講演梗概集, 1968. 10.

教授 井口 昌平 (Syōhei INOKUTI)

IHD プログラムの中での水文学の研究について—文部省出版物 MEJ 9969, 《IHD》, 5, 3~42, 1968. 3.

各国における IHD の連絡誌について—文部省出版物 MEJ 9989, 《IHD》, 6, 24~26, 1968. 8.

世界水観測日の提案について—文部省出版物 MEJ 9990, 《IHD》, 7, 12~24, 1968. 10.

水文学用語集の作成について—文部省出版物 MEJ 9990, 《IHD》, 7, 31~34, 1968. 10.

河道のなかの流れの特性について (第2報) (鮎川 登・吉野文雄と共著)—土木学会, 第23回年次学術講演会, 375~376, 1968. 10.

教授 田中 尚 (Hisashi TANAKA)

Limit Analysis of Beam-Column Connections (I-1) (Coauthors: A. Fukusima, Y. C. Lin)—日本建築学会論文報告集, 148, 49~55, 1968. 6.

Limit Analysis of Beam-Column Connections (I-2) (Coauthors: A. Fukusima Y. C. Lin)—日本建築学会論文報告集, 149, 25~33, 1968. 7.

鉄骨構造物の柱はり接合部の耐力, 剛性に関する研究 (その3) (福島暁男・重信恒男

と共著)—日本建築学会大会学術講演梗概集, 1025~6, 1968. 10.

柱はり接合部の極限解析 (6, 強軸曲げを受ける T 形, L 形接合部) (林 永全と共著)—
日本建築学会論文報告集, 1027~8, 1968. 10.

柱はり接合部の極限解析 (7) (福島暁男と共著)—日本建築学会論文報告集, 1029~30,
1968. 10.

Limit Analysis of Beam-Column Connections (II) (Coauthor: Y. C. Lin)—日本建築
学会論文報告集, 157, 1969. 3.

Limit Analysis of Beam-Column Connections Subjected to Anti-symmetrical Bend-
ing, Recent Researches of Structural Mechanics, 279~297, 1968. 4.

Von Mises の降伏条件による字形接合部の極限解析—構造工学研究, 102~127, 1969.

助教授 三木五三郎 (Gosaburo MIKI)

判別分類試験—「土質調査試験結果の解釈と適用例」の第4章, 34, 土質工学会, 1968.
3.

ケミカルグラウトの浸透性に関する新しい問題点—第3回土質工学研究発表会発表講演
集, 土質工学会, 159~162, 1968. 6.

土質用語・記号および土質試験法に関する規格の最近の事情—土と基礎, 16, 8, 47~
50, 1968. 8.

日本の土の工学的分類法について—土木学会第23回年次学術講演会講演概要, III-12,
1968. 10.

コルゲートアーチの支持機構に関する実験的研究(その2) (橋本国男と共著)—土木学
会第23回年次学術講演会講演概要, III-111, 1968. 10.

ドイツの「土の工学的分類法」の規格—土と基礎, 16, 11, 38~48, 1968. 11.

演習土質工学 (中瀬明男・福住隆二・持永竜一郎と共著)—オーム社, 244, 1969. 3.

助教授 石井 聖光 (kiyoteru ISHII)

Study on Noise Reduction in the Vehicle of Under Ground Railway by Acoustical
Treatment on the Wall of Tunnel (Coauthor: Tomoharu KAZAMAKI) Reports
of the 6th International Congress on Acoustics, F-69, 1968. 8.

助教授 村松貞次郎 (Teijiro MURAMATSU)

霞カ関ビル—新建築, 1968. 6.

鉄筋コンクリート構造の歴史—コンクリート・ジャーナル, 1968. 11.

助教授 小林 一輔 (Kazusuke KOBAYASHI)

人工軽量骨材コンクリートの高圧蒸気養生に関する基礎的研究 (伊藤利治・河原俊厚と
共著)—土木学会第23回年次学術講演会概要, 1968. 10.

合成樹脂接着による鉄筋継手に関する基礎実験 (伊藤利治・芝田憲と共著)—土木学会

第 23 回年次学術講演会概要, 1968. 10.

助教授 川股 重也 (Shigeya KAWAMATA)

Application of Finite Element Method to Non-Symmetrical Problems of Solids of Revolution, (Coauthor : Shigematsu Shioya), Recent Researches of Structural Mechanics, Uno-shoten, 1968.

マトリックス法によるラーメン解析入門 (1)~(3)—コンクリートジャーナル, 6, 8, 10, 11, 1968. 8, 10, 11.

壁式ラーメンの応力解析の基礎的研究 (坪井善勝・徐 文良と共著)—日本建築学会大会学術講演会梗概集, 1968. 10.

回転殻の固有周期に関する研究(坪井善勝・柴田耕一と共著)—日本建築学会大会学術講演会梗概集.

円筒形スペースフレームシェル of 解析 (坪井善勝・真柄毅と共著)—日本建築学会大会学術講演会梗概集.

Finite Element 法による 4 点支持板の解析 (坪井善勝・塩屋繁松・千葉敏郎と共著)—日本建築学会大会学術講演会梗概集.

Finite Element Method による連続体の解析—その (4) 回転体の非対称問題 (坪井善勝・塩屋繁松・田中伸幸と共著)—日本建築学会大会学術講演会梗概集.

円筒殻の特殊解について (坪井善勝・末岡禎佑と共著)—日本建築学会大会学術講演会梗概集.

3 方向つり屋根構造の応力関数法による解析 (坪井善勝・大山 宏と共著)—日本建築学会大会学術講演会梗概集.

曲面板の非線型理論 (その 2 近似理論), (坪井善勝・角野晃二・登坂宣好と共著)—日本建築学会大会学術講演会梗概集.

助手 本多 昭一 (Shoichi HONDA)

産業革命としてのプレハブ—建築年鑑 1968, 1968. 6.

設備のプレハブ化にとって何が必要か, Glass & Architecture, 1968. 2.

E. 受賞

昭和 43 年 4 月~昭和 44 年 3 月までに受賞者は下記の表のとおりである。

| 部 名 | 氏 名 | 受賞名 (賞を出した機関, 団体名) | 受賞対象の研究 | 年月日 |
|-------|----------------|--------------------|---------------------|-----------|
| 第 4 部 | 石田 洋一 | 日本金属学会第18回金属の組織写真賞 | 金属結晶粒界の微細構造 | 43. 4. 2 |
| 第 1 部 | 根岸 勝雄 | 第 8 回佐藤論文賞(日本音響学会) | 有限振幅の超音波による光の回折 | 43. 4. 17 |
| 第 2 部 | 植村 恒義 | 科学技術庁長官賞 (科学技術庁) | 回転反射鏡式超高速カメラの開発 | 43. 4. 19 |
| 第 1 部 | 輪竹千三郎 山田 嘉昭 | 日本塑性加工学会論文賞 | プレスの静的および動的特性に関する研究 | 43. 5. 10 |

| | | | | |
|-----|-------|---|---|------------|
| 第2部 | 平尾 収 | Manuel Junoy 安全大賞 第12回 FISITA (国際自動車技術 会議) | Improvement of Safety of Automobile as man-machine Systemat High Speed Running | 43. 5. 23 |
| " | 亘理 厚 | Manuel Junoy 賞 12 th Congress of FISITA | 12 th Cougreis of FISITA 呈出論文 | 43. 5. 23. |
| 第3部 | 高木 昇 | 電気学会功績賞 | | 43. 5. 25 |
| " | 沢井善三郎 | 技術論文賞 | 精製糖工程の総合制御システ ム | 43. 9. 5 |
| 第2部 | 森 政弘 | (計測自動制御学会) | | |
| 第3部 | 山口 楠雄 | | | |
| 第4部 | 石田 洋一 | 米国 ASM (American Society for Metals) 金属組織学展覧会電 頭部門賞 | 金属結晶粒界の微細構造 | 43. 10 |
| " | 石田 洋一 | 松永研究助成金 (松永記念科学振 興財団) | 薄膜透過電顕法による金属結 晶粒界構造の解析 | 43. 12. 1 |